

や とも つづ なみ え まち
 ② 焼き物と共に歩み続ける 浪江町



① とうげい もり おおぼり
 陶芸の杜おおぼり(浪江町大堀地区)



② おおぼりそうまやき
 大堀相馬焼

つかむ

写真や資料から、
 気づいたことを話し合
 い、学習問題をつくり
 ましょう。

焼き物づくりがさかんな浪江町

はなさんたちは、浪江町の伝統的な産業である
 おおぼりそうまやきの写真や資料を見て、気づいたこと
 について話し合うことにしました。



「大堀相馬焼には、ひびのような模様があつて、とてもめずらしいね。」

「それだけではなく、馬のような絵も下の方にかかっているよ。」

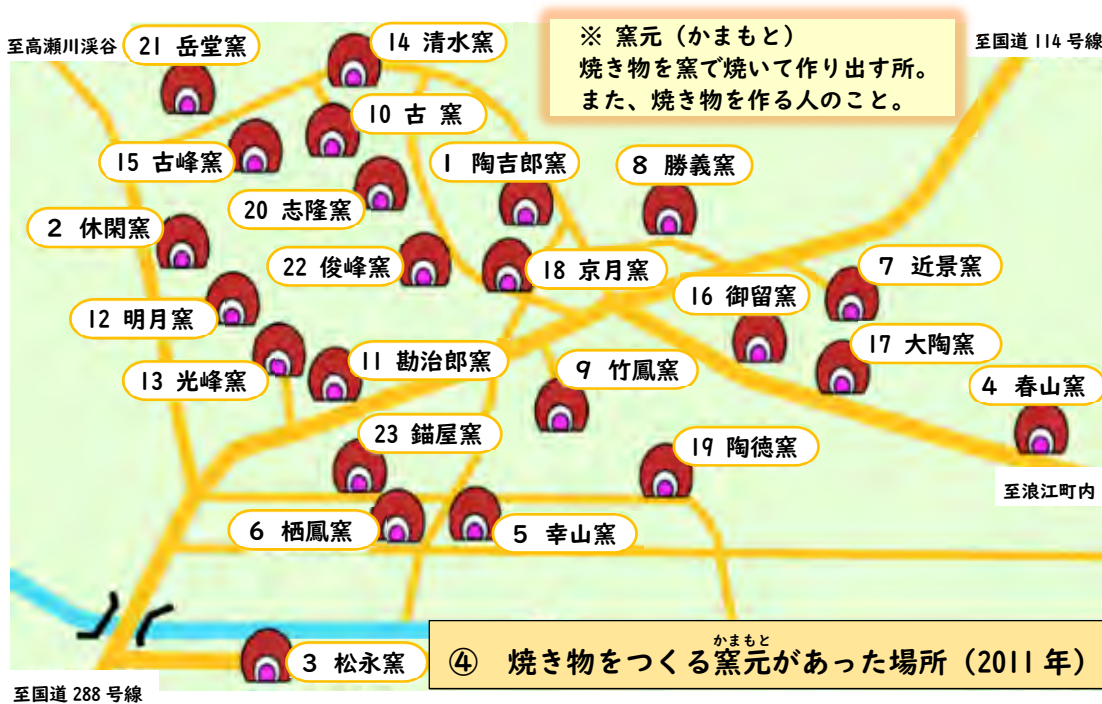
「陶芸の杜おおぼりには、煙突のついた大きな登り窯があるね。」

「大堀相馬焼は、300年以上も前からつくられているんだね。」

「でも浪江町は、どうして焼き物づくりがさかんなのかな。」

年	できごと
1690 ごろ (元禄3)	左馬が焼き物づくりを学ぶ。 半谷休閑が村人にぎじゅつを伝える。
1978 年 (昭和53)	国の伝統的工芸品に指定される。
2002 年 (平成14)	「陶芸の杜おおぼり」が完成する。

③ 大堀相馬焼に関する年表



てんとうき さんぎょう
伝統的な産業

地いきの自然や
 古くから伝わるぎじゅつを生かして長く受けつがれてきた産業のこと。地いきの人々のくらしを支えています。伝統的な産業としてつくられるものは特産品として親しまれ、県の内外に愛好する人たちがいます。

「大堀地区に、これだけたくさんの窯元が集まっていたこともふしぎだね。」

「このあたりでしか取ることができない材料があったのではないかな。」

「年表にあるぎじゅつを伝えた人の名前と同じ名前の窯元もあるね。」

「東日本大震災の後は、同じように焼き物づくりを続けることができたのかな。」

はなさんたちは、話し合う中で気になったことやもっと調べてみたいことをもとに、学習問題をつくりました。

【調べること】

- 浪江町で焼き物づくりがさかんになったわけ。
- 焼き物づくりを守り、伝える浪江町の人々の取り組み。

【調べ方】

- 年表やインターネット、動画などを使って調べる。
- 町役場で働く人や焼き物づくりをする人にインタビューをしたり、メールや手紙でたずねたりする。

【まとめ方】

- 浪江町の焼き物づくりを守り、伝える取り組みについて、4コマCMにまとめる。

学習問題

浪江町では、大堀相馬焼をどのように守り、伝えているのでしょうか。





1



2



3



4

① おおぼりそうまやき こうていせいけい 大堀相馬焼の工程 (成形)

調べる

大堀相馬焼は、どのように作られているのでしょうか。

おおぼりそうまやき 大堀相馬焼ができるまで

はなさんたちは、大堀相馬焼をつくっている半谷窯を見学させていただきました。



「この焼き物は、どうして大堀相馬焼という名前なのかな。」



「江戸時代、相馬藩にあった大堀村の特産品だったそうだよ。どうやってつくっているんだろう。」



「大堀村で手に入る原料は大堀粘土で、土の粒が細かく、焼き物をうすくつくっても焼き割れしないんだって。」



「だから、二重焼きが出来るんだね。」



② 青ひびをつくる釉薬の原料 砥山石

げんりょう 原料



陶器の原料は、主に粘土です。また、釉や着色剤として釉薬が使われるときがあります。地いきで手に入る原料を生かしてものづくりが行われています。



【動画】^{あら}荒もみ
から^{せいけい}成形まで



5



6

③ 大堀相馬焼の工程（仕上げ・^{かんせい}完成）

ゆうやく
釉薬



陶器や磁器の表面
にぬられるガラス質の
薬品。焼かれる際にと
けて、美しい^{こうたく}光沢や
色彩^{しきさい}となります。



「青ひびをつくる^{ゆうやく}釉薬の原料となる^{とやまいし}砥山石も、大堀村で手に入る原料らしいよ。」



「大堀相馬焼は、国の^{でんとうてきこうげいひん}伝統的工芸品なので、つくり方や原料が決まっているみたいだよ。」



「なるほど。つくり方や原料が決められていて、原料が大堀村でしか取れなかったとは、おどろきだよ。」

はんがいていしん 半谷窯の半谷貞辰さんの話

土をいきなり^{せいけい}成形することはできないので、「^{あら}荒もみ」といって何度も土をこねる作業をします。これがたいへんです。こねてできあがった土をろくろの上に乗せて、足でろくろを回しながら^{せいけい}少しずつ成形していきます。

^{しよくにん}職人さんたちの数がへってきているのが^{ざんねん}残念です。そのため、^{げんざい}現在では、^{きかい}機械で^{せいけい}成形したり、^{えつ}シールで^{えつ}絵付けしたりするなど、^{くふう}機械化による工夫が行われています。





① ^{とうげい もり} 陶芸の杜おおぼり ^{にほんまつこうぼう} (二本松工房)



② ^{ふっこうえざら} 復興絵皿2012

調べる

これまで、^{おおぼり}大堀相馬焼はどのような^{くなん}苦難を乗り越えてきたのでしょうか。

^{ぜんちょうひなん}全町避難

町の役場をはじめ、町に住んでいた人が全て別の市町村へ^{ひなん}避難すること。

^{げんしりょくはつでんしょ}原子力発電所の事故

^{ひがしにほんだいしんさい}東日本大震災で発生した大きな津波により、福島第一原子力発電所で事故が起き、^{ほうしやせん}放射線を出すものが発電所の外に出ました。発電所のまわりに住む人（浪江町の人）もが避難したり、一部の地いきで水道水や食べ物の^{いんしょく}飲食を一時的に止められたりすることがありました。

^{さいがい}災害を乗り越えて

^{ひがしにほんだいしんさい}はなさんたちは、東日本大震災の影響で全町^{ひなん}避難した浪江町の^{なみえまち}大堀相馬焼がどのように受けつがれているのか、さらに調べました。



^{げんしりょくはつでんしょ}「2011年の原子力発電所の事故により、^{じこ}原料となる^{げん}陶土や陶石が放射線を出すものに^{りょうとうどうとうせきほうしやせん}汚染されてしまったのよ。」



^{かま}「そして、23窯あった^{かまもと}窯元も7窯にへり、浪江町以外の市町村で^{でんどう}伝統を受けついでいるんだって。」



「えっ。浪江町ではつくっていないの。」



「そうなんだ。今は、7つの窯が^{きょうりょく}協力して浪江町の『^{わざ}なみえの技・なりわい館』で7つの窯元の^{せいひん}製品が^{はんばい}販売されているんだよ。」

浪江で陶吉郎窯
 東京電力福島第一原発事故の影響で避難し、いわき市四倉町に大堀相馬焼「陶吉郎窯」を構えている近藤学さんは1日、浪江町大堀に再建する窯元の上棟式を現地で行い、工事の安全を願った。



① 「大せとまつり」に集まる浪江町の人たち

「大堀相馬焼」帰還の道しるべ

窯元の上棟式
 を備える房と、焼き物を販売する店舗を設ける。来年2月に完成する予定で、完成後は内覧会などのイベントを計画している。来年4月ごろにも作陶活動を再開する見通しだ。再建後も当面は、いわき市と浪江町を行き来しながら活動するといふ。



窯元の上棟式
 大堀相馬焼の窯元の上棟式を
 浪江町で行い、工事の安全を願った。

② 浪江町での再開を知らせる新聞記事 (福島民報 2023年7月30日掲載)

調べる

浪江町では、伝統の焼き物づくりを未来につなげるために、どのような取り組みをしているのでしょうか。

焼き物がつなぐ町民の絆

新しい土地で窯元を始めたり、職人になるために移住したりと、大堀相馬焼の伝統を受けつごうとする動きが広がっています。

浪江町役場の蒲原さんの話



大堀地区は文化的価値のある地区です。浪江町では、補助金を利用し、地区の整備を行いながら道の駅なみえに「なみえの技・なりわい館」を設立しました。町民をつなぐ伝統的工芸品を残すためにも、地いきの人たちと協力して大堀相馬焼のぎじゅつを次の世代につないでいくことに力を入れています。

なみえの技・なりわい館

2021年3月に完成した観光施設のこと。この中に、大堀相馬焼協同組合は新たな工房・ギャラリー・事務所を設立し、県内各地で再開している組合所属の窯元の作品を集めて展示販売しています。

まとめる

焼き物づくりがさかんな浪江町について、調べたことをもとに4コマCMをつくりましょう。

学習問題

浪江町では、大堀相馬焼をどのように守り、^{つた}伝えているのでしょうか。

学習問題をもう一度かくにんしよう！



はなさんたちは、これまでの学習をふり返り、大堀相馬焼を守り、^{つた}伝える取り組みについて、グループで話し合いました。そして、浪江町の^{とくしよく}特色について伝えるものを決めて、4コマ^{シーエム}CMをつくることにしました。

1 つくり^{つづ}続けて333年



浪江町の焼き物づくりは、300年以上のれきしがあります。



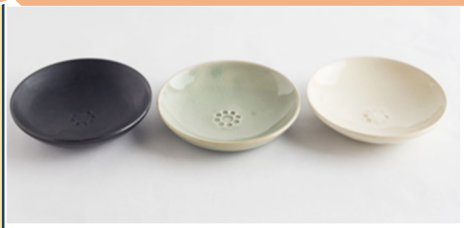
2 伝統的なぎじゅつ



走りごまは一つ一つかきます。このぎじゅつがすごいです。



3 新しい取り組み



伝統行事やイベントに合わせた製品をつくっています。



4 浪江町民とともに



大堀相馬焼をきっかけに、多くの^{じやうみん}住民が集まります。



【4コマCMのつくり方】

- 1 はんで話し合い、浪江町の^{とくしよく}特色を伝える^{ないよう}内容を四つ選ぶ。
- 2 1コマずつ分たんを決める。
- 3 画用紙に絵や文字、写真などでまとめる。(タブレットにまとめることもできる)
- 4 短い言葉でタイトルをつける。
- 5 つくったものをグループでつなげて、みんなで発表し合う。

③ 浪江町をPRする動画



浪江町公式キャラクター
うけどん